

オテニエル かみさまは ちからである



士師3:8~11 それで、主の怒りがイスラエルに向かって燃え上がり、主は彼らをアラム・ナハライムの王クシャン・リシュアタイムの手に売り渡された。こうして、イスラエル人は、八年の間、クシャン・リシュアタイムに仕えた。(8) こうして、この国は四十年の間、穏やかであった。その後、ケナズの子オテニエルは死んだ。(11)

1. オテニエルはだれが持っていた契約を持ったのですか

- 1) カレブはヘブロンを相続地として受けました(ヨシュア14:6~15)
- 2) カレブはキルヤテ・セフェルを征服したオテニエルを婿にします(士1:13)
- 3) オテニエルはカレブの契約を受け継ぎました(ヨシュア15:16~19)

2. カナン入国の主役はだれでしたか

- 1) ヨシュアとカレブのように信仰の人を用いられました(民14:1~10)
- 2) カレブは信仰の告白をして、一番難しいアナク山地を征服しました(ヨシュア14:6~15)

3. アナクとの戦闘の実際的な主役はだれでしたか

- 1) オテニエルはキルヤテ・セフェルを取りました(ヨシュア15:16~17)
- 2) オテニエルはアナクとの戦闘の主役になりました(士1:13)
- 3) 神様はオテニエルを士師として立てて、クシャン・リシュアタイムの手から救われました(士3:7~11)

タイトル:

せいしよかしよ:

メッセージ:

いのりの かだい(じっせんする こと):



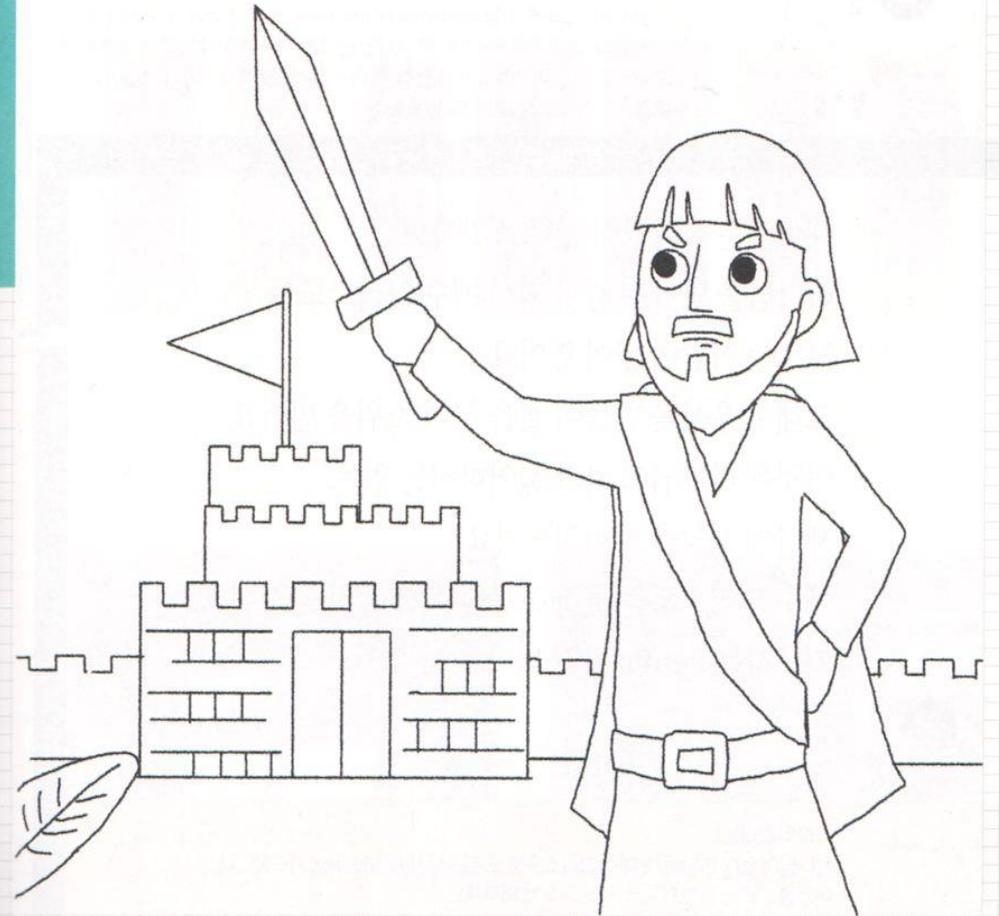
よくできました

オテニエルは だれですか
ただしい ものに
○を つけましょう

1. けいやくの ひと カレブの
(むすめ、むこ) でした
2. カレブと ともに
(くるしみ、しんこう) を こくはくした
ひとです
3. せいふくするのが いちばん むずかしい
(アナクさんち、 エリコ) を
せいふくしました

よくできました

★アナクとの せんとうの じっさいの しゅやくであった
オテニエルに いろを ぬりましょう



デボラ ばつ

士師4:1~4 その後、イスラエル人はまた、主の目の前に悪を行なった。エフデは死んでいた。それで、主はハツオルで治めていたカナン^{おさ}の王ヤビンの手^てに彼ら^{かれ}を売り渡した。ヤビンの將軍はシセラで、彼はハロシエテ・ハゴイムに住んでいた。彼は鉄の戦車九百両^{せんしやきゆうひやくりやう}を持ち、そのうえ二十年の間、イスラエル人をひどく^{あつぱく}圧迫したので、イスラエル人は主に叫び求めた。そのころ、ラピドテの妻で女預言者^{おんなよげんしや}デボラがイスラエルをさばいていた。

2 か

1. 危機を防ぐ男がいない時代でした

- 1) 主の目の前に民は悪を行ないました(士4:1)
- 2) カナンの王ヤビンの手に国が売られました(士4:2)
- 3) 鉄の戦車九百両を持ち二十年の間、イスラエル人をひどく圧迫しました(士4:3)

2. 女を用いられた神様の働きです(士4:4)

- 1) ラピドテの妻でした
- 2) 女預言者でした
- 3) 士師でした

3. デボラの業績があります

- 1) イスラエルを立派に裁判しました(士4:5)
- 2) バラクを通してシセラを退けました(士4:5~23)
- 3) イスラエルの母と呼ばれました(士5:7)

タイトル:

せいしよかしよ:

メッセージ:

いのりの かだい(じっせんする こと):

よくできました

★かみさまが もちいられた おんなよげんしゃ デボラの
すがたを きれいな いろで ぬりましょう



よくできました

デボラが のこした ぎょうせきを みつけましょう

1. こうかいを わけて たみを みちびいた
2. ききを ふせぐ おとこが いない
じだいに イスラエルを りっぱに
さいばんした
3. エリコを くずした
4. バラクを とおして シセラを
しりぞけた

ギデオン きを きる もの

士師6:11~14 さて主の使いが来て、アビエゼル人ヨアシュに属するオフラにある
榿の木の下にすわった。このとき、ヨアシュの子ギデオンはミデヤン人からのがれ
て、酒ぶねの中で小麦を打っていた。(11) すると、主は彼に向かって仰せられた。
「あなたのその力で行き、イスラエルをミデヤン人の手から救え。わたしがあなたを
遣わすのではないか。」(14)

3か

1. イスラエルはまた危機に会いました

- 1) 主の目の前に悪を行なったので、7年間ミデヤン人の手に渡されました (士6:1)
- 2) イスラエル人が種を蒔くと、ミデヤンが襲ってきました (士6:3)
- 3) 食べる穀物、飼っている家畜を奪っていきました (士6:4)
- 4) いなごの大群のように攻撃し、イスラエルを滅亡させようとしてしました (士6:5)
- 5) イスラエルはミデヤン人の攻撃のために非常に弱くなって、落胆しました (士6:6)

2. そのとき神様はギデオンを呼ばれました

- 1) 主のために祭壇を築くようにと言われました (士6:25~27)
- 2) ギデオンはバアルの祭壇を取りこわしました (士6:28~32)
- 3) 彼は神様を信じる信仰によって300人を集めて雲の群れのようなミデヤンに勝ちました (士6:33~7:1)
- 4) ギデオンはエポデを作って彼の町に置き、彼が生きている40年の間は、この国は穏やかでした (士8:22~28)

3. 神様はギデオンを通して集めた300人の勇士をもってミデヤンに勝ちました (士6:33~7:1)

タイトル:

せいしよかしよ:

メッセージ:

いのりの かだい(じっせんする こと):

よくできました

★ききに あった イスラエルの すがたです。
あいている ところに つぎのページの えを きって
はりましょう。

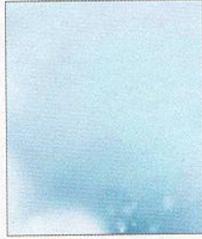
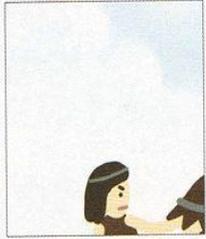
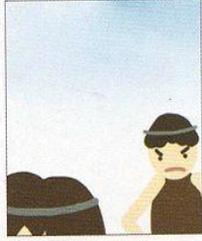
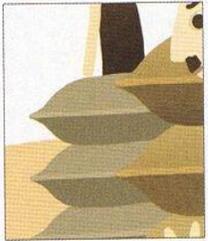


よくできました

だれのことを せつめいした ことばでしょう

1. しゆの ために さいだんを
きずいて バアルの さいだんを
こわした ひとです
2. しんこうの ゆうし 300にんを あつめて
ミデヤンに かった ひとです
3. かれが いきている 40ねんの あいだ
ちは おだやかでした

まえの ページの あいている ところに ひとつずつ
きって はってください。



4か

サムソン たいようのひと

1. サムソンは聖霊に満たされて生まれました(自覚める、士師記13章)

- 1) 神様は彼の両親に強いお酒を飲まないように命じられました
- 2) 区別された身分として生まれる彼にかみそりを当てないように命じられました
- 3) サムソンは聖霊の満たしの中で生まれました

2. サムソンの人生の中には失敗と成功がありました

- 1) 自分の妻としてペリシテ人の娘を選びました(士14:1~4)
- 2) 聖霊の満たしの中で獅子を殺しました(士14:5~9)
- 3) サムソンは妻を奪われると穀物、ぶどう園、オリーブ畑を燃やしました(士15:1~5)
- 4) 復讐するためにペリシテ人を殺しました(士15:6~8)
- 5) ペリシテ人の人々が彼を縛った糸を解いて出て行きました(士15:14)
- 6) ろばのあご骨で、ペリシテ人千人に勝ちました(士15:15~17)
- 7) サムソンは遊女デリラに会って危機は始まりました(士16:4)
- 8) かみそりを当てて髪の毛を失って奴隷になりました(士16:5~22)

3. サムソンは失敗から再起します

- 1) ペリシテ人に物笑いとなりました(士16:23)
- 2) さらに手錠をかけられました(士16:25~26)
- 3) しかし彼は悟りを得て最後の時を迎えます
- 生きているときよりも多くの敵を殺して死を迎えます(士16:30)

タイトル:

せいしよかしよ:

メッセージ:

いのりの かだい(じっせんする こと):

よくできました

サムソンに たいする
せつめいの なかで
まちがっている ことを
さがしましょう。

1. サムソンの りょうしんは おさけを のみませんでした
2. くべつされた みぶんで うまれました
3. かみのけが のびたら とこやに 行って
きれいに きりました
4. せいいいに みたされる なかで うまれました

よくできました

★サムソンの さいごの すがたに いろを ぬりましょう

